



1. 学校名

長野県長野市立信里小学校 3学年 7名

2. 探求課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1)活動名 里山の恵み～信里に住む生き物とのふれあい～

(2)目 標

- ・信里に生息する生き物との日常のふれあいを通して、自然の豊かさを体感する。
- ・トンボ学習を通して、多くのトンボが生息する原因はため池にあることを知る。
- ・生き物の生息にとってもため池は必要なことを知り、自分たちができることを考える。

(3)ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 多様性 (多種多様な現象が起きていること) | <input type="checkbox"/> 公平性 (一人ひとりを大切に) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性 (関わりあっている) | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性 (互いに連携・協力すること) |
| <input type="checkbox"/> 有限性 (限りがある) | <input type="checkbox"/> 責任制 (責任を持って) |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4)関連する SDG s

6 安全な水とトイレを世界中に 15 陸の豊かさを守ろう

(5)探求課題・活動実践の概要 (指導計画の概略含む)

① トカゲやカナヘビとの遊びを通して、自分の知りたいことを探っていく。

- ・トカゲやカナヘビの魅力は何だろう。
- ・トカゲのカナヘビの種類や見分け方・特徴を研究。
- ・カナヘビの卵から誕生までの観察からわかったことをまとめる。

② トンボ学習

- ・ヤゴを見つけ、トンボになるまでの過程を観察する。
- ・夏と秋のトンボ観察会 信里に見られるトンボの種類と特徴を研究。
- ・トンボの生息に適した環境を講師から学ぶ。

③ シナイモツゴ学習

- ・絶滅危惧種であるシナイモツゴの存在を知る。
- ・なぜシナイモツゴが絶滅危惧種になっているのか講師から学ぶ。
- ・信里にあるため池を維持することの意味を知る。



3. 効果・反応・所感

3・4年生の子どもたちは特に生き物に興味を持ち、トカゲ・カナヘビ・トンボを追いかけ観察を続けてきた。里山のよさを知り、学校目標『信里を語る子ども』の素地を作る活動ができた。信里には多くのため池があり、そのおかげで多くの種類のトンボが見られたり、絶滅危惧種のシナイモツゴまで敷地内の池にいたりすることは、貴重な信里の財産であることを実感してきた。この環境を守るために自分ができることは何だろうと関心を持っている。次の一步を高学年になってどう踏み出すか課題も持てた一年間の学習であった。

4. 指導方法・体制の工夫 (協力者や資源)

【資源】 信里小学校周辺の田畑・ため池・森林

【協力者】 トンボ学習 小林友広先生 (千曲市在住)

シナイモツゴ学習 中野繭先生 (信州大学)